授業実践のひろば

家庭科における「若者の社会保障」を考える

- 生活保護とアルバイトの労働権を中心に -

中 川 千 文

静岡北高等学校

1. はじめに 済に関する関心や知識は他校生より高いと思われ

社会保障は国民のいのちと暮らしを守る社会的 な柱である。かつて勤務した静岡県の単位制高校 は経済的にも家庭環境においても大変厳しい家庭 の子どもが多く、教員として授業で社会保障をし っかり扱いたいと考えていた。しかし高校「家庭」 学習指導要領(2010年)では、高齢者や子どもの 福祉が中心で、青年期の社会保障・福祉について の扱いは十分とはいえない。

選挙権が18歳以上に引き下げられ、高校生への 主権者教育が叫ばれている。高校生の生活実態に 即して社会保障・福祉について学び、これからの 生活の方向性を選択する力をつけることは、主権 者教育としても大切であると考える。新学習指導 要領の公示もあり、これからの授業作りに生かし たいと、今まで実践してきた、いずれも選択科目 である、静岡県の単位制高校の「消費生活」(2003 年)と東京の私立高校の「社会福祉基礎」(2015年) のまとめを行い、これからの授業作りの課題を整 理することにした。

2. 高校生の視点から日本の社会保障を考え る3つの観点

授業実施校の1つである単位制高校は生徒の多 くがアルバイトをして家計を助けていた。成人で 年金を払ったり税金を払っている生徒もおり、経

なく、好きなことで身を立てたいと考えている生 徒もいた。そこで、人生を見通す力をつけ、経済 生活の実態と共に社会保障の大切さに気づかせた いと、次の3つの柱を観点にして、社会保障の授

日本家庭科教育学会誌, 61(4): 236-241, 2019

た。また個性的な生徒が多く,将来は会社員では

(1) 自分の夢の実現にいくらかかるか

- (2) 我国の社会保障の現状とあり方
- (3) 暮らしの中の憲法25条と若者の社会保障

3. 実践と考察

全体の指導は表1の通りである。なお指導項目 (1)・(2)は静岡の単位制高校, (3)は東京の私立 高校の実践である。

(1) 人生設計と経済生活

業を構成することにした。

まず導入として1)「自分の夢の実現にいくらか かるか」をテーマとした。自分の人生設計と関連 づけ、自分の夢の実現にかかる経費等を調査し、 発表した。(生徒の研究概要は表2)

生徒たちは書籍の他にインターネットを使った り、結婚式場見学に行ったり、ペットを飼ってい る教員に聞き取りをしたりと、自分の夢に向かっ て張り切って取り組んだ。しかしいざ試算の段階 になると予想以上にお金がかかり、現実の難しさ が身に染みたようであった。

〈発表が終わっての生徒の感想〉

●思い切った事をする時、たくさんのお金が必要 となる。お金は常に貯めておかないといけない

(受付日 2018年8月22日/受理日 2018年10月5日) Chifumi NAKAGAWA

〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名5-15-1

表 1 「若者の社会保障」 授業内容

Here Wander A. Healtham Average A. Here A. W. H.			
時間	学習項目	学習内容	資料・指導上の留意点
6	(1) 人生設計と経済生活 1)導入 自分の夢の実現にいくら かかるか 2)自立をめざして	自分の人生設計を考える中で、自分の夢の実現にいくらかかるか、 1つの場面を想定し経費等を調査し、まとめ発表する。 <テーマ>・一人暮らしの節約法 ・出産費用 ・自分の店をもつ ・結婚費用 ・ペットを飼う(犬) ・マイホームを建てる ・一人暮らしの生活費(寮,下宿) ・ニューヨークにダンス修行で1週間行く 人生設計ができる力をつけるためには「自立」が基礎となる。自分	調査方法 ・情報雑誌 ・インターネット ・参考書籍 ・インタビュー
		の自立について考察する。 ・一人暮らしの自立度チェック・自立のための意思決定 ・求人票を読み取る ・正社員とフリーター ・一人暮らしの生活費	く・学ぶ」(開隆堂)
3	(2) 我国の社会保障の現状 とあり方 1)老後の生活保障の現状 2)我国の社会保障のあり方	我国の貯蓄・年金の実態と問題点 共助型(ドイツ・フランス・日本),自助型(アメリカ),公助型(北欧) の比較を行い,自助型と公助型について、4人ずつグループを作り ディベートを実施。ディベート後もう一度自分の意見をまとめる。	暮らしと金融なんでも データ(金融広報中央 委員会) 朝日新聞記事(千葉大: 広井良典さん) ※ディベートに参加し ない生徒は審判
3	(3) 暮らしの中の憲法25条 と若者の社会保障 1)生活保護を考える ①「生活保護」とは ②「生活保護」のしくみ ③「生活保護」Q&A ④まとめ 2)パート・アルバイトの労	「生活保護」について知っていることやイメージを出し合う。 「生活保護」の理念は憲法25条の「生存権」にあることを確認し、「生活保護」を受けるための法的条件を知る。 「生活保護」について今まで話題になったことや、生徒が気になること、もっと知りたいことについて教師の解説を聞き、考える。 「生活保護」を学んでの感想をまとめる。	生徒へのアンケート 教科書「社会福祉基礎」 生徒へのアンケート 生徒のまとめ
9	 動権を考える ①自分が就職したい会社の条件 ②パート・アルバイトの権利 ③パート・アルバイトの権利を守るために ④まとめ 	自分たちが就職したい会社の条件をグループで話し合う。また「ブラック企業」の問題点を知る。 アルバイトの権利クイズ 労基法違反がわかったらどうする?欧州の労働政策を知る。 学習でわかったことや感想をまとめる	過労死自殺裁判の新聞 記事 「絶対トクする!学生 バイト術」(有限会社 きょういくネット) 生徒のまとめ

表2 「自分の夢の実現にいくらかかるか」研究の概要

衣と「白ガの夢の天境にいくらがかるか」「何九の幌安		
研究テーマ	研究の概要	
★一人暮らしの節約法	・食費は三食自炊で月15,000円節約できる。その他、ガスは中火で蓋をする。冷蔵庫は詰め込まず、冷気の流れをよくする。	
★出産費用	・個人病院より総合病院のほうが割安だが、30~40万円かかる。出産育児一時金や出産助成金、児童手当があるのでしっかり調べる。	
★喫茶店を開く	・静岡市の中心商店街に20坪のカフェを開くには1500万円必要。保証金,準備金(宣伝費,制服など),内装工事、機材等で。	
★結婚式費用	・支出は挙式料、料理、衣裳代、引き出物、司会者謝礼、税金、サービス料、チップ等で 295万円。収入は貯金、ご祝儀、両親からの援助で284万円。結婚式はご祝儀価格で、1 つ1つの価格が高い。	
★ジャーマンシェパードを飼う	・子犬15万円、小屋、給餌器、トレーニンググッズ、シャンプー、予防接種、葬式代等。 大型犬なので年間経費46万円、小型犬は27万円。	
★ニューヨークに6泊8日で行く	・パスポート 1 万円, 航空券12万円, ホテル代は 6 泊で 4 万円, 日本で空港までの交通費 2 万円, アメリカでの交通費15000円, ダンスレッスン10回で14000円, 観劇 5 回で11000 円等。計27万円に加え, 小遣い 6 ~ 7 万円が必要。	

と思った。一人前の大人になるために節約する ●自分が店を持つことも思った以上の額だった。 ことや世の中の動きなど,様々なことの知識を なくなっていくお店が多いのも納得。親には感 覚えておかないといけないと思った。

謝しっぱなしです。

中川:家庭科における「若者の社会保障」を考える

●「あきらめる」大切さを、そしてその時々で身 の丈に合った生活を送っていくことが成功につ ながると思った。

生徒の感想をみると、ほとんどの生徒が自己責任として「節約する」「あきらめる」と書いていた。 私は自分の経済計画を長期的に考えることは大切 であるが、いかに日本は若者が夢を持ちにくい社 会であるかを教師として実感させられた。

次の2)「自立をめざして」の、学校に来る求人 票を読み取る授業でも、高卒初任給での一人暮ら しはいくら節約しても無理であった。若者がパラ サイトシングルにならざるをえない背景を生徒も 私も納得できた。そこで、若者の経済的自立を妨 げている日本の経済構造そのものにメスを入れた いと、安定した経済生活の基盤となる「社会保障」 について考えさせることにした。

(2) 我国の社会保障の現状とあり方

社会保障のあり方は国のあり方そのものと考える。大切なテーマであるがゆえに、教師の価値観の押しつけでなく、生徒たちに主体的に考えさせる授業をめざした。

1) 老後の生活保障の現状

超高齢社会を迎え、我国の社会保障は本当に保障になっているか、統計資料(総務庁家計調査等)をもとに生徒と一緒に確認した。国民の老後に対する不安は強まっているのに貯蓄率は低下しており、バブル崩壊後の賃金引き下げの影響がうかがわれた。貯蓄ができない中で何を頼りにしているのか?資料では大幅に減ったのが「子どもに面倒をみてもらう」で、逆に「年金・恩給」が大幅増であり、「貯蓄」は横ばいであった。「あてがない」も大幅に増えており、老後の経済生活に不安を持つ人が多いことが確認できた。

一方、年金があれば安心なのであろうか?いろいろな老後のスタイルを考え、将来いくら年金をもらえ、どのような生活になるかを比較した。資料から夫婦2人の1ケ月の生活費(当時)は最低で23.5万円、ゆとりある生活なら37.3万円であった。年金支給モデルを比較すると、共働きで夫婦

とも厚生年金の場合のみ、何とか最低限の生活ができる。しかしゆとりある生活はどのモデルでも不可能であった。特に悲惨なのは夫婦とも国民年金の場合である。また独身では女性が苦しく、これは男女の賃金格差が老後の年金支給額の差に反映されていることを説明した。しかも将来的には保険料は高く、支給額は少なく、支給開始年齢は遅くなることが予想され、さらに深刻化する。生徒たちは年金の具体的試算を行ったことで、自分が高齢者になった時のイメージは持てたようであるが不安も大きくなったようである。そこで次は年金をはじめとする日本の社会保障はどうあるべきか、生徒とともに考えることにした。

2) 我国の社会保障のあり方

生徒が主体的に考える授業をめざし、初めての 試みであるディベート「これからの日本の社会保 障はアメリカ型か北欧型か」を行うことにした。

朝日新聞に載っていた千葉大教授広井さんの記事をディベートの資料とした。広井さんは「共助型の日本の社会保障制度は行き詰っている。これからはアメリカのような自助型か北欧のような公助型の選択が必要」と述べている。(資料1)

4人ずつのグループを作り、ディベートを行った。普段は意見表明をしない生徒たちであったが、予想外に大いに盛り上がった。アルバイトをしている生徒が多く、人生経験も豊かなことも一因であろうか。判定では北欧派が勝ったが、ディベート後にもう一度自分の意見のまとめを行った。

〈アメリカ型に賛成な生徒の意見〉

- ●ディベート前もディベート後もアメリカ型。人間は楽ばかりでは腐敗する。自分の行動に責任を負う緊張感が生きている証だと思う。
- ●政府を信じて預けて大丈夫か?
- ●最初は北欧型がいいと思ったけれど、アメリカ型のチームに入って考えたら、日本の経済状態からは北欧型は無理かなと思った。
- ●給料の半分近くを税金で取られるような生活は 嫌だ。目標がある方が自分が進歩できる。

〈北欧型に替成な牛徒の意見〉

● どちらにせよお金がかかるとしたら、国で守ら

資料1

個人が自己責任で安全網を張るのか ラバラで孤立した状態にあるのが日 の古い共同体は壊れ、 ②自助…自己責任を原則とし、保険 将来不安や制度不信の根本原因とい に向かうのか見えていないことが、 部門)の安全網を張るのか。どちら の損得を超えた新しい共同体(公共 北欧のように自立した個人が、個々 本の現状だ。米国のように自立した 本のままだ。 会保障制度は古い共同体モデルが基 が成熟社会の基本のはずなのに、社 かし社会の成熟に伴い、地縁・血縁 方で社会保険方式をとってきた。し 会に依存しながら、①の共助の考え ③公助…自立した個人をベースにし ①共助…家族など伝統的な共同体を のモデルが参考になる。 保障制度を考える場合、 新聞〇三年九月掲載記事要旨 教授・広井良典さんに聞く」(朝日 「『社会保障と年金改革』千葉大学 新しい共同体が見えず、 ながら、公共部門で守る。税金の これからの時代にふさわしい社会 ●ディベート資料 日本の社会保障制度は、家族や社 個人保険中心。 (米国型) 料・税金とも比重は低く、民間の 比重が大きい。(北欧型) 社会保険料を中心に税金をミック 基本とする社会保険方式。財源は 米国型か北欧型か ースとするモデル。相互扶助を (ドイツ・フランス型) 自立した個人 欧米の3つ 個人がバ どんな政治哲学を選択するかという 税金で賄い、最低限の生活ができる とが必要だ。また基礎年金は全額を での公的保障はさらに充実させるこ 要な選択肢になる。 Ò にするなどの配慮が必要だ。また生 引き上げる場合は、食料品を非課税 国はいずれも十五%以上だ。日本で める必要がある。その一つを消費税 V) が人を雇うことを減らしてはいけな は大きくならざるを得ない。しかし 充実すべきだ。社会保障全体の負担 全体としての規模を維持し、さらに ば、年金・医療・福祉など制度の具 可避となるだろう。公助の道を選べ の悪化や社会の緊張度の高まりが不 会保障制度がふさわしいか。結局は 水準に高める必要がある。どんな社 応するのは難しく、 る。こうしたリスクに民間保険で対 気などのリスクに対応することにあ まれた時点での個人の平等の観点か に求めざるを得ないだろう。欧州各 社会保険料の負担の大幅増で、 高齢化の進行を考慮した上でなお、 体的な見直しが必要になる。今後の の拡大や犯罪率上昇、公共スペース した環境税の社会保障への導入も重 社会保障制度の機能の一つは、 そこで財源として税金の比重を高 米国のような自助型では、 価値の選択に直面 相続税の強化や、ドイツが実施 医療·福祉分野

れている北欧型の方がいい。

- ●自分が成功すればアメリカ型でいいと思うが, それは一つかみの人。
- ●「アメリカ」への見方が変わった。自由の国でいいなと思っていたが、反対側から見ることによっていろいろな問題に気がついた。税金の大幅増についてもただ「嫌だ」と思っていたが、理由を調べていくうちに、自分のことばっかり考えていてはダメだと実感した。
- ある程度の生活を保障してあった方が安心して 生活できる。しかし働かない人も出てきてしま いそうなので、完全北欧型もどうかと思う。

生徒たちのまとめを紹介した後, 私としては, 強い個人でないと生きていけない自己責任の社会 であるアメリカ型より, どんな人でも生きやすい 北欧型に賛成であることを表明し,終了した。

(3) 暮らしの中の憲法25条と若者の社会保障

ディベートにより、日本の社会保障の方向性を 考えさせたが、ある研究会で「自分の夢と結びつ かない。青年期の社会保障に絞った方がいい」と いう指摘を受けた。そこで「若者の社会保障」として、国民の生活を守る最後のセーフティネットといわれる「生活保護」と、日本の若者が高校卒業後にすぐ直面するであろう「アルバイト」の労働権を取り上げることにした。

その背景には静岡県の単位制高校の生徒たちの 実態があった。その高校では生活保護家庭が多く, 多くの生徒がアルバイトをしていたが,アルバイ トに追われて単位数が足りず,退学していく生徒 が多くいた。生活保護やアルバイトが生活を壊し ている現実に矛盾を感じる日々であった。大学生 の「ブラックバイト」も社会問題となっていた。 国民的課題として,高校生にも「生活保護」や「ア ルバイト」について考えてほしいと思い,この2 つを選択した。

また、社会保障は憲法25条の「生存権」に依拠している。しかし私たちは理念として知っていても、生活の中で憲法を実感することは少ない。この授業を通して「暮らしの中の憲法25条」を改めて考えさせたい狙いもあった。

1) 生活保護を考える

中川:家庭科における「若者の社会保障」を考える

①「生活保護」とは

最初に、生徒に「生活保護」に対するイメージを聞いたところ、全体としてはいい制度であることは認めるが、「貧しさ」のあらわれであり、周りには知られたくないという、日本人の一般的な意見が聞かれた。

生活保護は保険料を払わないと受け取ることができない社会保険と異なり、社会保険から漏れた人たちが受け取ることができる「最後のセーフティネット」である。公費すなわち税金で賄われているが、それは憲法25条の生存権「健康で文化的な最低限度の生活の保障」に基づいていることを確認した。

② 生活保護のしくみ

日本では生活保護に対するマイナスイメージがあり、生活に困窮していても受け取ることをためらう人が多くいることが想像される。そこでまず生活保護のしくみについて学習した。(資料2)

資料2 「生活保護」のしくみ

最低生活費

収入

保護費

収入とは就労収入,年金等社会保険給付,親族 による援助等の合計。収入が最低生活費を下回 る場合,不足分が保護費として給付される。

生活保護の支給額はその地域の「最低生活費」をもとに算出されるが、全額を支給されるわけではない。世帯単位なので、家族全員の収入を合計して、最低生活費に足りない分を支給する。そのため、家族(高校生でも)が働いた収入の分だけ生活保護費は削られる。これは生活保護制度が最低限の生活の保障とともに、自立を促すことを目的としているためである。また受けるためには援助してくれる身内や親族がいないことや、貯金や土地などの財産を処分し、生活費に入れることなど、一般的なしくみを教科書を使い説明した。

③ 生活保護Q&A

さらに生徒から出た疑問にQ&A形式で答え、

生活と結びつけ理解を深めることにした。

Q1:親族は必ず援助しなくてはいけないの?

A 1:法的には親族の援助は強制ではなくお願い どまりである。しかし義務だと誤解してい る国民は多い。

Q 2:生活保護家庭の高校生や大学生がアルバイトをした場合、生活保護費を削られるの?

A 2:生活保護は世帯単位で決定されるので、子 どもたちの収入も控除される分以外が生活 費に組み込まれ、その分支給額が減額され る。子どもたちはその控除分を自分のもの として使うことができるが、微々たるもの であり、とても進学や将来の自立のための 資金とはなりえない。「貧困の連鎖」の原 因ともなっている。

Q3:生活保護を受けるには、携帯やスマホも持ってはいけないの?

A3:かつてはエアコンの使用が認められておらず、受給者が熱中症で死亡した事件があった。現在はその地域で世帯普及率が7割以上のものは持っていいことになっている。携帯、スマホ、パソコン、テレビ、エアコンなどは許可されている。車は求職活動に必要と認められれば持ってよい。不明な時はケースワーカーに相談すればよい。

④ 生徒の感想

多くの生徒が「子どものアルバイト代が生活費 に入れられ、支給額が減らされるのはおかしいし 不公平である」と述べている。同じ高校生として、 生活保護家庭の高校生へ共感を寄せ、またこの制 度の問題点を把握できたように思う。

2) パート・アルバイトの労働権を考える

静岡県の単位制高校でアルバイトをしている生徒にアンケートをしたところ、「突然解雇を言われた」「交通費が支払われなかった」「テスト前にもシフトを入れられた」「仕事中に皿を割ったら給料から弁償させられた」などの体験が書かれていた。しかしアルバイトだからとほとんど泣き寝入りをしていた。高校生は進学してすぐアルバイトを体験する者が多いであろうし、若者の1/3

は非正規社員である。アルバイトの労働権を知る ことは社会に出る前に絶対に必要だという思いか らこの授業を行った。

① 自分が就職したい会社の条件

まず導入として、若者の労働実態を把握させるために、自分たちが将来就職したい会社の条件を聞いた。意外なことに「給料より休日が保証されている会社」また「ブラック企業でない会社」が出された。そこで「ブラック企業」による過労死裁判の記事を紹介した。就活の大変さは周知の通りである。しかし正社員ならよいのであろうか。「求人票」の離職率が高い会社は労働環境が悪いので、必ず確認すること等を伝えた。

② パート・アルバイトの権利

次にアルバイトの労働権を学習した。「絶対トクする!学習バイト術」(きょういくネット社)から抜粋し、アルバイトの権利クイズを行った。生徒たちはアルバイトに権利があることを知らず、アルバイトに労働基準法が適用されることに驚いていた。生徒に知ってもらいたい権利としてa.最低賃金を下回らないこと b.残業・深夜・休日には賃金が割り増しされること c. 半年以上継続勤務すれば有給休暇があること d. 契約は文書で行うこと e. 勤務中や通勤中のケガは労災適用されること f. 仕事中のミスは弁償責任がないこと g. 解雇は1ヶ月前に通告するか1ケ月分の給与の保障義務があること等の解説を行った。

③ パート・アルバイトの権利を守るために

最後にまとめとして、アルバイトの労働権が守られるための展望を探った。労働法違反がわかった時は行政機関や労働組合に相談すること、また正社員と非正規社員の労働単価が同じである「同一労働同一賃金」「ワーキングシェア」に代表されるヨーロッパの労働政策を紹介した。

④ 生徒の感想

- ●アルバイトでも労働基準法が適用されると知って安心した。就職する時,ブラック企業で働かないために,今回の学習を生かしていきたい。
- ●法律で決まっていても守らない企業がある。も っと国は労働問題を真剣に考えてほしい。

4. まとめと今後の課題

生徒には身近でない「社会保障」を生徒の生活に引き寄せたいと、「自分の夢の実現にいくらかかるか」を全体の導入として社会保障の意義についても考えさせ、次に直接若者に関わる社会保障として「生活保護」と「アルバイト」を選び、再展開を行った。社会保障は憲法25条の「生存権」を基本理念とする政策である。抽象的になりがちな「人権」に関わる授業であるが、生徒の関心の高いアルバイトを軸に組み立てたことで理解しやすかったようである。

「生活保護」については問題点を中心に学習をすすめたが、高校生や大学生のアルバイト代や奨学金が高校や大学の教育費用の一部として控除対象になり改善されてきている。これも国民が声をあげたからであり、継続した運動が大切であることを生徒に伝えていきたいと思う。

若者の非正規労働者の増加は「若者の貧困」を深刻化させている。こうした厳しい生活環境の中では若者は結婚や出産ができず、少子高齢化がますます進む悪循環を起こしている。「若者の社会保障」はこれからの社会的課題といえよう。

今回の授業の他に、これらを打破するいくつかの施策が考えられる。例えば生活保護世帯の子どもたちは「教育を受ける権利」が守られていない。教育の不平等さを是正するためには、人生のいつでも教育の受け直しができる教育制度や給付型奨学金などの実現が必要になろう。また若者の貧困の一因となっているのは一人暮らしの家賃の高さである。日本では公営住宅に独身の若者は入居できないしくみになっている。若者に公営住宅を解放することも社会保障の1つとして家庭科の「住生活」で扱いたいテーマである。

新学習指導要領高校家庭科では「社会福祉・社会保障」の扱いが後退し、「自助」が強調されている。その社会福祉も「老人福祉」が中心である。そうした厳しい状況であるが故に、若者の自立をめざした主権者教育として「若者の社会保障」をテーマとした授業作りの検討を重ねていきたい。